



2019年5月10日

各位

会社名 味の素株式会社  
代表者名 取締役社長 西井 孝明  
(コード番号 2802 東証第一部)  
問合せ先 執行役員財務・経理部長 中野 哲也  
(TEL. 03-5250-8111)

### 通期連結業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ

2019年1月31日に公表した2019年3月期(2018年4月1日~2019年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想値と決算値の差異(2018年4月1日~2019年3月31日)

単位:百万円

	売上高	事業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益(円)
前回発表予想(A)	1,146,800	86,200	21,600	39.00
実績値(B)	1,127,483	92,635	29,698	53.62
差額(B-A)	△19,316	6,435	8,098	-
差額率(%)	△1.7%	7.5%	37.5%	-
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,114,784	95,672	60,124	105.76

(注) 1. 当社グループは、IFRSの適用にあたり、投資家、取締役会及び経営会議が各事業の恒常的な業績や将来の見通しを把握すること、取締役会及び経営会議が継続的に事業ポートフォリオを評価することを目的として、「事業利益」という段階利益を導入しております。当該「事業利益」は、「売上高」から「売上原価」、「販売費」、「研究開発費」及び「一般管理費」を控除し、「持分法による損益」を加えたものであり、「その他の営業収益」及び「その他の営業費用」を含まない段階利益です。

(注) 2. 当連結会計年度より、物流事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、連結損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、事業利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2018年3月期についても同様に組み替えて表示しております。

#### 2. 業績予想値との差異の理由

主として海外食品セグメント及びヘルスケアセグメントにおいて、事業利益が前回の業績予想を上回ったことに加え、税金費用が減少したことによるものです。

以上